

日米外交關係書ヨリノ抜萃 (自一九三二年(昭和七年)至一九四一年(昭和十六年))

第一卷 (自二一七頁至二二〇頁)

上海ニ於ケル軍事行動

西曆一九三二年(昭和七年)五月五日締結セラレタル上海ニ於ケル戰國行爲ノ最後的停止ニ關スル協定

第一條

日支當局ハ既に發砲停止ヲ命ジタルヲ以テ、其戰國行爲停止ハ一九三二年(昭和七年)五月五日以降決定的ニナリタルモノト協定ス。兩國ノ軍隊ハ可及的ニ上海周邊ニ於ケル凡ユル敵對行爲ヲ停止スベシ。戰口停止ニ關スル疑義ノ生ジタル場合ハ參加友交國ノ代表者ニ於テ右ノ點ニ關スル狀態ヲ明確ナラシムルモノトス。

第二條

支那軍隊ハ本協定ニ依テ定メラレタル地域ノ平常ナル狀態ニ回復スルヲ俟チテ指示セラルベキ、何分ノ沙汰アルマデ現在位置ニ留ルベシ。前述ノ位置ハ本協定附則一ニ於テ肯定シアリ。

第三條

日本軍隊ハ一九三二年一月二十八日ノ事變前ノ如ク國際植民地於虹口地區ニ在ル附屬居留地道路迄後

退スベシ。然レドモ宿泊セシムベキ日本軍隊ノ人員  
數ニ鑑ミテ若干ノ兵員ハ上述セル地域ニ接シタル地  
域ニ一時的ニ陸屯セザルベカラザルハ了解済ノコト  
トス。上記ノ地域ハ本協定附則二ニ於テ指定シアリ。

#### 第四條

兩國ノ後退ヲ保障スル爲參加友交國ノ代表者ヲ含  
ム共同委員會ヲ設ク。本委員會ハ又日本軍ノ撤退直  
後引繼ノ爲ノ支那警察ノ來着ニ付準備ニ協力スルモ  
ノトス。本委員會ニ關スル組織並ニ手續ニ關シテハ  
本協定附則三ノ規定ニヨルモノトス。

#### 第五條

本協定ハ署名ノ日ヨリ効力ヲ發スルモノトス。  
本協定ハ支、日、英語ヲ以テ作成ス。支、日、英語  
ノ本文相互間ノ意義ニツキ、意義ノ相違ヲ生ジタル  
際ハ、英文ニ據ルベシ。

西曆一九三二年五月五日 於上海

郭 泰 祺

外務次官

戴 戟

陸軍中將

黃 強

陸軍中將

植田（上田） 正

陸軍中將

スルクリーク（瀨り瀨り港）ノ西岸ニ沿フテワシ  
エンチヤラ（ ）ニ至ル、ソノ地  
點ヨリ北方ノクリークヲ越エテ沙頭（ ）ノ  
東方四軒ノ地點ニ至ル。更ニソノ地點ヨリ西北方ニ  
進ミテ、揚子江岸ノ湖北口ヲ含ム地點ニ至ル。

右記ノ地點ニ關シテ疑義ノ生ジタル際ハ共同委員  
タル參加友 國ノ代表者ニ於テ明確ナラシムベシ。

#### 附則 一

本協定第三條ニ記サレタル地域左ノ如シ

前記ノ地域ハ添附セル地圖 A B C D 線ヲ以テ示シ第  
一ニ三四地區ト稱ス

第一地區ハ地圖 (A) ニ示サレ左記ノ如ク協定セラレタ  
リ。

(1) 本地區ハ吳淞村（ ）ヲ除ク。

(2) 日本人ハ上海—吳淞鐵道並ニ同工場ノ運轉ヲ妨害  
セザルコト

第二地區ハ地圖 (B) ニ示サレ左記ノ如ク協定セラレタ  
リ即チ本地區ヨリ國際競技場ノ東北方約一哩内外ニ  
在ル支那人墓地ハ日本軍隊ノ使用スベキ地域ヨリ、  
除ク

第三地區ハ地圖 (C) ニ示サレ、左記ノ如ク協定セラレ  
タリ即チ本地區ヨリ支那人部落チヤラ、チヤ、チヤ  
イ（ ）及サンエー紡績工場ヲ除ク

第四地區ハ地圖(D)ニ示サレ左記ノ如ク協定セラレ  
タリ、即チ本地區ハ日本人墓地ト之ニ至ル東方ノ  
道路ヲ含ム

右ニ關シソノ地域ニ癘疫ノ生ジタル際ハ共同委員  
會ノ要求ニ依リ共同委員會員タル參加友交國ノ代  
表者ニ於テ明確ナラシムベシ

日本軍隊ノ右記地域内ヘノ撤退ハ本協定效力發生  
後一週内ニ開始シ、撤退開始後四週内ニ完了  
スベシ

第四條ニヨリテ設立セラルベキ共同委員會ハ撤退  
時迄ニ撤退シ得ザル病人或ハ負傷セル動物ノ保護  
或ハ今後ニ於ケル撤退ニ關シ所要ノ取極メヲナス  
ベシ、是等ノ病人及ビ動物ハ所要ノ醫療者ト共ニ  
現在位置ニ留ルモ差支ヘナシ、支那當局ハ右ニツ  
キ保護ヲ與フルモノトス

### 附則 三

共同委員ハ十二名ノ委員即チ左記ヨリ文官一名及  
ビ軍代表一名ヲ以テ組織セラルベシ

支那及日本政府及三月四日ノ國際聯盟會議ノ決定  
ニ基キ、本交渉ヲ援助シタル友交國ノ代表者タル  
ヲ以テアメリカ、イギリス、フランス、イタリヤ  
ノ共同委員會ハ會議ノ決定ニ基キ臨時、處要ト認  
メラルル補助員ヲ使用スルモノトス

一切ノ處理事項ハ該委員會ノ判斷決定ヲ俟ツモノ

トシ、ソノ決定ハ多数決タルベク、議長ハ決定投票權ヲ有スルモノトス。議長ハ参加友交團ノ代表者中ヨリ、委員會ニヨリテ選舉セラルルモノトス。共同委員會ハ本協定第一、二、三條ノ施行ニツキソノ判断ニ差キ最善ト思料セル方法ヲ以テ之ヲ監視スルモノトス且右記三條ノ何レカノ實行ヲ怠リタル際ハ注意ヲ喚起スベキ權能ヲ有スルモノトス